

なぜ、間接部門改革は頓挫するのか？ 鍛え抜かれた間接部門に学ぶ 今こそ 強靱な間接部門を作るチャンス！ ～ テレワークを上手く活用するための経営者、経営幹部のマネジメント ～

コロナ禍の中、テレワーク(リモートワーク)が進むことにより間接部門の業務の進め方も変わりつつあり、それが上手く生産性の向上につながるのではないかと期待があります。一方で、旧態依然とした時間感覚のままの従業員が多く、間接部門の改革が進まないとお悩みの経営者も多くおられると思います。今、多くの課題に心労が絶えない経営者の皆様に 間接部門改革の実績を持つ『実戦』コンサルタントが具体的な間接部門改革に向けての切り口と他社での『実戦』事例をご紹介します。

2020年8月25日(火)【大阪】

13:30~16:30(受付13:00~)

会場：新大阪ワシントンホテルプラザ

大阪市淀川区西中島5-5-15
JR新大阪駅徒歩3分

受講料：10,000円(税込)

定員：先着15名

対象：経営者 経営幹部
間接部門責任者



こちらからもお申込みできます

2020年9月16日(水)【東京】

13:30~16:30(受付13:00~)

会場：A P東京八重洲10F会議室「X」

東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル
JR「東京駅」八重洲中央口より徒歩6分

受講料：10,000円(税込)

定員：先着15名

対象：経営者 経営幹部
間接部門責任者



こちらからもお申込みできます

担当講師

大手電機メーカーでの商品企画、開発・設計さらには新規事業の事業戦略立案で事業の垂直立上げに貢献した経験をもとに「実戦」コンサルティングを推進中。量産型のみならず、受注型ビジネスのバリューチェーンでの難課題を多数コンサルティング。

株式会社テクノ経営ウェブソリューションズ

本部長
コンサルタント 高橋 恒夫



このようなお悩みはないですか？

- ✓ テレワークで各自の仕事の進め方が見えないので不安！
- ✓ テレワークで従来より業務が遅れ気味
- ✓ 仕事を前に進めるための根回しはやはり残ってしまう
- ✓ 現場との連携がさらに「疎」になった
- ✓ 突発業務への対応が遅れがちになる
- ✓ テレワークになり、「待ち」の姿勢の社員にはさらに手がかかってしまう
- ✓ 三現(現場・現物・現実)主義が薄れ、机上論で問題を対処してしまっている



間接部門改革の3つの『仕掛け』とは

- その1『業務仕分け分析による価値業務の可視化』
今こそ、価値ある業務に注力する！
(優れた製造メーカーは「全員」が価値を生み出す)
- その2『業務フロー分析による価値創出フローの構築』
これまでの業務フローを「抜本から」見直す！
(「楽な」フローを一掃、「価値を出す」フローへ)
- その3『ミドルマネジメントへの1on1 コーチング』
「人の意識改革」が結局は生き残りの切り札！
(仕掛けをしてもやはり「人」がすべて)

講演内容

セミナー 受講申込書にご記入、希望日に☑のうえFAXしてください

大阪開催分希望(8/25)

東京開催分希望(9/16)

FAX送付先

06-6910-0863

貴社名				事業所名			
ご住所	〒			TEL () FAX (
受講者名	所属 / 役職		お名前			E-MAIL	
			(ふりがな)				
			(ふりがな)				
受講券・請求書の送付先	受講者様宛(複数名お申込みの場合は上段記入者) 受講者様以外 所属:			お名前:		E-MAIL	

HPからお申込み頂くと2割引きに！

個人情報の取り扱いについて
お申込み戴いたお客様の個人情報は、細心の注意を払い管理させて頂き、お客様のセミナー申込内容の確認・参加登録・資料送付・参加料の確認等に利用させて頂きます。また、弊社の各種サービスに関する情報及びご案内等の提供に利用させて頂く場合がございますのでご了承下さいますようお願い申し上げます。